

平成30年度「黒岩知事との“対話の広場”地域版（湘南会場）」参加者意見一覧

“対話の広場”地域版（湘南会場）では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下の通りまとめました。（ご意見・ご感想は要約してあります）

「子どもみらいをスマイル100歳に！」に関すること

・お話を聞いていて、スタートは「スマイル」、「楽しむこと」と感じました。（秦野市・男性）

地域テーマ（子どもから大人まで「健康」でスマイル100歳～生涯スポーツ社会を考える～）に関すること

・公園で球技のスポーツがしたい。周りにネットを張るべきだと思いました。（大和市・男性）

・町のいたるところにちょっとした運動器具を配置しても良いと思います。（男性）

・車椅子など、人によっては歩きたくても歩けないのに、車椅子体験なんてバカにされていると思われる人もいます。（横浜市・男性）

・スポーツをしない人がだんだん増えてきていますが、スポーツを無理矢理やらせても全然楽しめないと思うし、スポーツをやらない人は運動するのが苦手な人が多くいると思うので、運動するのが苦手な人でも楽しめるような場所を増やしていったら良いと思いました。また、最初からバリバリ運動するのではなくて、遊び程度で始めたらもっと良いと思いました。体の不自由な人でも、体が不自由でない人と同じくらい楽しめるような場所とか遊びがあったらみんなが進んでスポーツに取り組めるようになるんじゃないかと思いました。（平塚市・女性）

・スポーツは楽しいものということをもっとたくさんの人へ伝えていった方が良いと思いました。もっとたくさんの方が気軽にスポーツできる場所や機会を作った方が良いと思いました。みんなにスポーツをしてもらうために取り組んでいることをみんなに伝えていけばどんどんスポーツをしようと思ったり、スポーツの考えが変わったりしていき、みんなが自分からスポーツをしていくようになっていきました。（平塚市・女性）

・杉山さんの考え方は私にとって良い意見でありました。健康であるためには歩くことがいいことだと思います。（平塚市・男性）

・ほとんど運動習慣がないので、何かきっかけがほしい。正式に部活やチームなどで運動をしてこなかったのも、そもそも運動の仕方自体がわからない。コーチングなどがあるとうれしい。（厚木市・男性）

・私は3033運動を実行しています。皆で実践していきましょう。（平塚市・男性）

・高齢者介護予防の運動について、茅ヶ崎市では65才～の前期高齢者は転倒予防教室、月1回通年開催、市内約20会場に無料で参加でき、これはプロの指導者が指導しています。75才～後期高齢者は歌体操教室、月2回通年開催、現在市内16会場、自治会館かコミュニティセンターで無料で参加できます。これは市がボランティアを養成して、ボランティアが指導しています。神奈川県もコグニサイズをやっている、私も講習に行きました。しかし実際に指導する場所がありません。県として進めて行くとしたら会場の確保、広報をサポートして、ボランティアの指導者が活躍できるようなシステム作りをぜひ整備してください。ボランティア保険なども利用して、是非、高齢者がさらに元気になるような教室を神奈川県で展開してください。（茅ヶ崎市・女性）

・運動不足を実感しているが、スポーツとなるとハードルが高くなる。「楽しむ」のキーワードで何か体を動かすキッカケが有るといいと思う。(小田原市・男性)

・遊びとケガや苦情の関係についてどう見るか。近所の殿山公園が、一部閉鎖どめ、立ち入り禁止となりました。安全面で仕方ないと思いますが、少し悲しく思います。遊ぶ際は危険がつきまとうのは必要と思うのですが、いかがでしょうか？(茅ヶ崎市・男性)

・子どもの頃からスポーツにふれあうのは大事なことだと思いますが、大人になってからも続けていけるスポーツを見つけること、それを継続してやっていくことが大切だと思います。激しく強度あるものだけがスポーツではなく、まず身体を動かす、少し遠くまで歩くなど身近にできることから始めていくのが良いと思います。3033運動の1つ、ランドマークタワーを階段で頂上まで行く企画にここ数年申込んでいます。あの企画は老若男女問わず参加できる良い企画だと思います。あのような企画をたくさん増やして下さい。(平塚市・女性)

・ニュースポーツ、呼吸法、ランニングと様々な身近な提案が大変良かったです。(横浜市・男性)

・知念先生のお話で、子どもたちが遊び方を知らない。3間の減少というのが、まさに我が家の課題だと感じました。共働きで平日は学童で遊ぶことが多いのですが、やりたいことをやりたいだけやる自由な遊びをほとんどさせてあげられていないと改めて思いました。子どもが自由に遊べるような環境作りを大人がしていく必要性をとて感じました。また杉山さんのお話で、幼少期にスポーツを楽しんだ経験があると、大人になってもスポーツを楽しめるということがよく分かりました。幼稚園の保護者会などでそういうお話がもっと周知できたら良いのではと思いました。1日30分は少しハードルが高いですが、まずはできるだけ階段を使うところから始めたいと思います。(厚木市・女性)

・スポーツの視点であっても心の健康、文化芸術を課題にすべきと考える。(大磯町・男性)

・知事の発言にあった学校施設の開放により、屋内・外で遊びも含めたスポーツや体を動かす機会がもっと増えると良いと思います。(平塚市・男性)

・楽しくスポーツをする、賛成です。(平塚市)

・国道467号線を藤沢市役所前から江ノ島まで車を遮断して、半日のウォークを是非実施したいと思っています。マラソンだけが華やかに取り上げられるのはナシに！(藤沢市・男性)

・自分も深くスポーツを行っていますが、この頃は楽しむ気持ちを忘れていることに気がきました。もう一度初心に戻って長く競技を続けていきたいと思います。(平塚市・男性)

・私は普段まったく運動しません。今日をきっかけに朝歩いたり、走ったり始めてみようと思いました。(横浜市・女性)

・スポーツをしない人は疲れている人です。つまり健康でない自覚のある人です。そういう方たちにスポーツをするためのエネルギーを作ってもらうためにはまず姿勢です。姿勢と呼吸を整え、スポーツができる土台づくりがスポーツ人口を増やすことへの第一歩だと思います。(藤沢市・女性)

・部活が楽しくなかったと発言した高校生に共感しました。日本のスポーツの大きな課題ではないでしょうか。(横浜市・男性)

・今回の話を通じて、自分で遊ぶ力と周りを巻き込んで遊ぶ力の2種類が必要なのではないかと思います。スポーツと一口に言っても、個人競技とチーム競技がありますし、一人で遊ぶ方が好きな人、皆で遊ぶ方が好きな人というためです。また、スポーツをしない子どもが増えている背景には、地域（人と人）のつながりの希薄化が少なからず関係していると考えます。スポーツを推進するとともに、地域活性化にも目を向けるべきだと思います。（平塚市・女性）

・公園などが楽しくなる工夫をすれば外で遊ぶ子どもが増えるのではないかと思います。（藤沢市・女性）

・日々、学校で学んでいることが教科という区切りをつけてしまうとバラバラだったものがこのイベントに参加できたことで1つにつながりました。中学のときからスポーツに抵抗を感じてしまっていたのですが、今回のお話を聞いて、自分が楽しむことから始めたいと思いました。（平塚市・女性）

・アメリカの写真を見て、外で遊ぶメリットとは何か。屋内でもできるのではないかと考えた。茅ヶ崎市でも室内体育館や陸上競技場もきちんと整備されているが、あまり関わりがない。文化部の人はどのようにスポーツに関わっていくべきなのか気になる。（茅ヶ崎市・女性）

・スポーツのプログラムをスポーツをやっていない学生や社会人に実際に考えてもらうと良いと思います。（平塚市・女性）

・知事の説明の中で体力テストの成績の低い学校に先生を派遣して、成績が上がった話がありました。今後も続けてほしいと思いました。（平塚市・男性）

・障がい者のバリアフリーへの対処法や、障がい者の体験など、機会があれば体験をしたいと思いました。（平塚市・女性）

・先月、私の通う学校にリトアニア共和国の選手団の方々が来校され、パラリンピック競技を体験させていただいたのですが、ふと、このような競技やスポーツを身近に感じられる設備や施設を見たことがないなと思いました。そこで、このように健常者から見たら縁遠く、物珍しいと思うであろう競技やスポーツが、身近に感じられるような設備や施設を整備し、広く一般に開放してみたいかと思いますが、専用の施設等が難しいようでしたら用具だけ整備していただくだけでも結構ですから、障がいを抱えられた方々と私たち健常者を結びつける架け橋を作っていただけたら私たちと障がいを抱えられた方々との距離も縮まる上に、障がいを抱えた方々がもっと自信を持って生活できる‘生きる源‘になるのではないかと思います。（寒川町・男性）

その他

・相模川の河岸、平塚～相模原までマラソンかロードバイクで走れるように整備してほしい。地元の大掃除の時でも川は県の管轄なので、ふれないようにしている。河岸整備後はボランティアで草刈りなどできれば、と思う。（厚木市・男性）

・要望として述べさせて頂きましたが、「不健康」な人にも配慮した施策を望みます。スポーツに限らず「不健康」のレッテルを貼られたとたん生きづらくなります。「未病」ということばも病気になる前の状態を連想させます。人生100年時代、誰もが病気やケガをする可能性があります。病気になり、障害があっても暮らしやすい社会を望みます。（男性）

・対話の中で知事の口から次から次へとプロジェクトの名前がでてきてビックリした。私が16年間生きていて、こんなにも神奈川県について知らないのだとビックリした。もっと行っているプロジェクトを伝えるべきだと思います。（藤沢市・女性）